

修了評価の方法

評価基準作成者：佐々幸恵

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none">・「(1)職務の理解」から「(9)こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。・事例問題 <p>2 出題形式</p> <p>四肢択一形式 ○×形式</p> <p>3 出題数</p> <ul style="list-style-type: none">・四肢択一問題 15 問・事例問題 2 問・○×形式問題 30 問 <p>事例問題配点 5 点。それ以外は配点 2 点とし全問正解 100 点満点とする。</p> <p>4 合否判定基準</p> <p>90 点以上</p> <p>5 不合格になったときの扱い</p> <ul style="list-style-type: none">・不合格者には、修了評価者が直ちに個別指導を行う。その後、数日後に再評価を行う。・再評価に係る合格基準は 90 点以上とする。・再評価を最大 2 回まで実施する。・再評価の結果、不合格であった者は未修了扱いとする。 <p>再評価料：1 項目あたり 2,000 円</p> <p>演習修了評価 実技課題を提示し、A 又は B、評価は合格、C 評価は、再指導して評価する。</p> <p>実習修了評価 実習を行い、A 又は B、評価は合格、C 評価は、再指導して評価する。</p> <p>A：よく理解ができている B：概ね理解ができている C：理解に不足があり再学習が必要</p>
------------	--